

まちのわだい



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当(☎6550)までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!

羊の毛刈りを間近で

鳥居平で「羊の毛刈りイベント」開催

4月29日(祝)、鳥居平の豊かな自然を活かそう会(奥村史郎会長)が、「羊の毛刈りイベント」を開催されました。鳥居平では、羊を飼うことにより人が集まり、獣害対策につながるとして、平成17年から羊の放牧をされています。今年はオスの林太郎のもとにお嫁さんがやってきました。

この日は、元県畜産技術振興センター長の三木勇雄さんが2匹を毛刈りされ、羊たちはとても気持ち良さそうでした。このほかにも、参加者の方は羊毛を使ったキーホルダーやコースター作りも体験されました。



▶羊の毛刈りを見る参加者の皆さん

春の山に入って学ぼう!

グリム冒険の森で「里山で学ぼう!」開催

4月29日(祝)、グリム冒険の森で、「里山で学ぼう!」が行われ、町内外から21名の方が参加されました。

今回は、橋本忠太郎顕彰会(北村誓代表)の皆さんが協力され、グリム冒険の森の中を歩きながら植物を観察し、タンポポやアザミ、セリヤオオバコなどを採取して、天ぷらにして食べました。「タンポポは苦味があるけど、おいしかったです」と、山野草のおいしさを堪能されました。

午後からは、植物の種が飛び様子を体験するために、紙コップなどで空飛ぶおもちゃを作って楽しめました。



▶自分たちで採った山野草を天ぷらにして食べました

ホンシヤクナゲの美しさに魅了

鎌掛溪ホンシヤクナゲ群落

今年も美しいホンシヤクナゲが咲き誇る鎌掛溪のホンシヤクナゲ群落を、多くの観光客が訪れました。今年の見頃は、例年より早く、4月27日から5月1日頃となりました。観光期間中には、7,942人の方が来場されました。観光客の方は、「来た甲斐がありました」とホンシヤクナゲの美しさに感動しておられました。

料金所入り口前には、日野町商工会、日野観光協会のテントが並び、そば工房あべいのテントではみたらし団子の販売が行われ、森の家とともにほっと一息つける場所が設けられました。



▶美しいホンシヤクナゲをカメラに収める観光客



まちのわだい



▲多くの人でにぎわう宵宮 (札の辻)
ふだ つじ

「日野祭」 800年以上の伝統を守る

湖東地域最大の春祭「日野祭」が行われ、2日の宵宮には1,000人、3日の本祭には、28,000人の方が訪れました。

宵宮では、夕暮れから曳山が町へ繰り出し、5基の曳山が集まった札の辻は、多くの人でにぎわいました。また、日野まちかど感応館前にも今年初めて3基の曳山が留まり、華やかな雰囲気です。

本祭では、馬見岡綿向神社に7基・ひばり野に1基の曳山が集まり、青空のもと祭囃子が響き渡り、多くの観光客やカメラマンでにぎわいました。



▶ 神子とともにお旅所へ向かう神調社



▲赤い毛氈で飾られた棧敷窓から渡御を眺めるのは、日野独特の光景です (西田邸)



▲日野まちかど感応館前を神輿が威勢よく通りました



▲祭囃子が会場に響き渡りました

祭とともににぎわう棧敷窓のある道

5月2、3日、「棧敷窓アート」が開催され、地元工芸作家を中心とした作品が、大字大窪から村井にかけて展示・販売されました。陶芸や木工、藍染めなど、さまざまな作品が集まり、多くの観光客が訪れました。



▲工芸作家との会話を楽しみながら、作品も楽しめました

お昼時には、日野まちかど感応館で販売された「鯛めん弁当」や西田邸で今年新たなメニューとなった「かぐや寿司」などを食べる人もあり、通りがにぎわいました。



▲日野まちかど感応館の座敷で鯛めん弁当を食べたり、通りを眺めたり…